

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県大館市御成町一丁目 10-2
 名称 株式会社 花善
 代表者 代表取締役社長 八木橋秀一

株式会社 花善

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

「変わらぬ味を守り続けること」「駅弁屋の責務を全うすること」「一人一食という考えを忘れざること」を基本方針に掲げ、地元で愛される企業を目指し、地域活動にも取り組んで参りました。これからも持続可能な社会を目指すSDGsの方針に賛同し、商品開発や商品提供を進めてまいります。地域の会社や学校との連携をますます強化し、大館・秋田から世界に羽ばたける企業になりたいと考えております。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 (※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年3月18日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	環境保全としてプラスチックゴミの削減に取り組む	エコ包装資材の導入 プラスチック主体の弁当容器から紙主体の弁当容器へ移行し、プラスチックゴミ年間1トンを削減(2020年を基準とし)	弊社主力商品の鶏めし弁当と比内地鶏の鶏めしの弁当折をプラスチック素材主体から紙主体の折に変更しようとして、試作品を繰り返し現在進行中。新折はフードカップ(プラスチック素材でプラとゴミの削減につながる)も使わない環境に優しい折になる予定。 (2022-2023)	1 2 1 3
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	地域活動への取り組み(学校・企業とのコラボ)	毎年実施されている大館市の学校給食事業の継続(鶏めし関連の食育)と地元の学校や地元企業との連携・取り組みを増やす	食を通じてふるさとキャリア教育の一環として今期も学校給食での食の提供と食育(花善・鶏めしの講話や校内放送)の実施をいたしました。 《地元の学校や企業連携》 欧州最大の見本市 SIAL Paris2022 において秋田	4 8 11

			<p>県ブースより秋田の魅力（観光・食・イベント等）をポスター、絵葉書、コースターで世界に発信した有浦小学校6年生へのサポートや提案をいたしました。今回作成したポスターと絵葉書は大館市主催の「令和4年度ふるさとキャリア教育作品コンクール」にて最優秀賞と優秀賞を受賞しております。</p> <p>大館アメッコ市では、桂城小学校6年生が考案した地元食材を使ったメニュー開発および製造・販売のサポートやSDGsを取り入れた商品開発を一緒に行いました。桂城小学校とのコラボは毎年グレードアップしております。</p> <p>秋田県と東北電力株式会社が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」へ秋田県内の食品製造業で初の加入をし、地元秋田のCO2を排出しない電力の使用を2022年4月より開始しております。 (2022-2023)</p>	
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	<p>従業員が働きやすく働きがいのある会社へ</p>	<p>育児休暇や有休の推進により従業員が安心して仕事と家庭の両立ができる職場造り（取得率の増加）</p>	<p>R4年 19.00% R3年 19.10% R2年 16.40% (2022-2023)</p>	<p>5 8 10</p>

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	